リーディングDXスクール事業 【実践事例】

鳥取市立面影小学校（鳥取県）【指定校】

【取組内容】 校務用サイトを活用した働き方改革

本校職員だけが使用できる校務用サイトを活用している。児童の欠席状況や年間計画など、今までバラバラだった情報を、１つのサイトに集約することですぐにアクセスできるようになった。

たくさんのアプリやデータを活用しているからこそ、情報が至る所に点在し、探す手間などがかかることでかえって時間がかかっていた、という課題の解決につながった。

教職員同士の情報共有は、Googleクラスルームを中心に行った。緊急のアンケートや研究に関するデータなどがすぐに共有できた。

また、各学年の学習発表会の動画など、児童の様子についても共有することで、児童理解にも有効だった。

職員研修は、クラウド上の掲示板アプリやJamボードなどの共有アプリを活用して意見交換を行った。
全校公開をした研究大会では、参加した教職員から、授業についての意見をその場で入力してもらうことで、授業中の感想をタイムリーに共有でき、研究協議の効率化につながった。

共有アプリを活用することで、教職員の研究を深めることができた。

ICTを活用し、校務の効率化を図ることで働き方改革の実現を目指してきた。欠席や1日のスケジュールの確認が各自の端末でできるようになったので、意思疎通がしやすくなり、教職員アンケートでも、職員間の風通しが良くなったという意見を書いている職員があった。教職員間のコミュニケーションも活発になってきている。

教職員が研修の中でICTを活用することで、ICTの活用に苦手意識を持つ職員や、若手の職員が使い方を学ぶ機会となった。また、一人一人の教員が使ってみることが、授業改善にもつながる。